

2016年12月

ゆとり教育は間違いか ～諸外国の教育と比較して～

情報学部 経営情報学科 新井ゼミ
B3P21043 櫛田小汰郎

【卒業論文概要】

日本が行ってきた、「ゆとり教育」と「詰め込み教育」について、時系列に調べ特徴を掴み、その時代の背景を踏まえて、比較および分析を行い、本来の「ゆとり教育」としてのありべき姿を検証する。また、学力の高い諸外国の学校教育を研究し、現在推進されている日本の学校教育と比較をすることで、今後の日本における望ましい学校教育の在り方を論じた。これらを踏まえて、最後に「ゆとり教育」は間違いだったのかを、今後明らかになる新学習指導要領について自分なりの提言を踏まえて論じた。

本研究では、全国統一テスト・PISA 調査の結果を用いて、「ゆとり教育」を行った結果学力の低下に繋がったことを検証しつつ、諸外国の教育の成功例と日本の教育を比較した。教師の質、家庭環境の違いに目をつけ、「ゆとり教育」と同じような学習指導での学力向上に繋がったことを検証し、日本に足りないことを踏まえ、望ましい教育環境の在り方を自分なりの提言を踏まえて論じた。また、諸外国との比較のなかで、学校教育だけでなく、家庭教育の教育費について比較を行い、家庭教育環境が子孫へ連鎖していることを論じた。